

DICOM規格 補足やまとめ

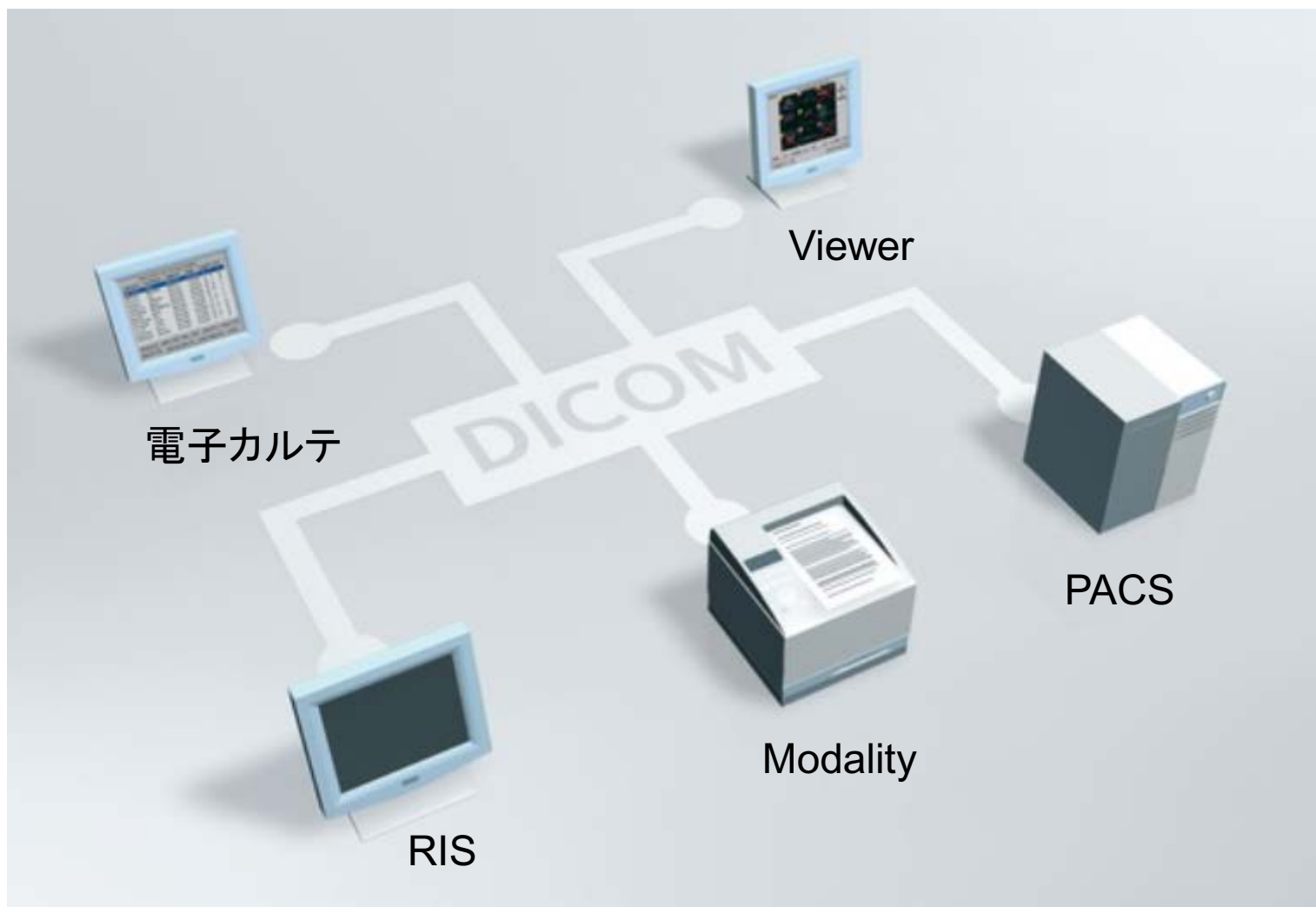


2017年2月4日（土）

日本画像医療システム工業会(JIRA)

システム部会 DICOM委員会

1. DICOM



医用画像はDICOM規格に準拠？

→ Yes

DICOMは医用画像の規格？

→ Yes but more

MWM/MPPSなどの検査予約、進捗管理

SRなどのReport

放射線治療系に多い非画像情報(RT Plan、RT Recordなど)

PACSサーバーはDICOMを保管？

→ 画像のDICOMについてはYes

非画像のDICOMについては必ずしも対応しているわけではない

DICOM規格の記述では、医療現場において必要とされる情報の入れ物(IOD)とやり取り(Service)を規定しているけれども、業務を行うためにどのような運用をすべきかについては規定していません。

医療分野ごとで業務のワークフローは異なっており、それぞれの部門で求められる情報連携もDICOMに限らず、非DICOM情報や非画像情報があり、それらの取り扱いを含めた運用のガイドラインを提示しているものにIHE(Integration Healthcare Enterprise: 医療における情報連携)があります。

IHEは業務のシナリオをDICOMやHL7を用いて記述

→記述できない技術や装置についてDICOMに規格の拡張を要請

→拡張された規格を用いて新たに業務シナリオを想定

DICOM	IHE
IOD(情報の入れ物)	Actor(機能)
Service(情報のやり取り)	Transaction(情報の流れ)
C/S	I/S
情報や通信の仕組みに主眼	業務の運用に主眼

ご清聴 ありがとうございます

End

